

県内経済動向調査結果（平成22年8月分）

平成22年10月13日
産業政策課

概 況

県内経済は、依然として厳しさが残る中、製造業を中心に持ち直しの動きが続いている。
ただし、昨今の急速な円高等により、今後の景気見通しに対しての懸念が高まっている。

主な業種	状 況
製 造 業	持ち直しの動きが続いている。ただし、今後の受注動向の悪化が懸念される。 生産額、受注額はそれぞれ前年同月比22.5%増、同26.3%増となった。3カ月先の業況見通しDIは▲4.7から▲27.9となった。
建 設 業	公共工事の減少により弱めの動きが続いている。 受注額、完工高はそれぞれ前年同月比81.9%増、同51.0%増となった。3カ月先の業況見通しDIは▲18.8から▲37.5であった。
小 売 業	猛暑の影響により家電の売れ行きが好調である。 売上高は前年同月比2.0%増、3カ月先の業況見通しDIは▲21.4から▲35.7となった。
サービス業	運輸業で回復の動きが見られる。 売上高は前年同月比6.7%増、3カ月先の業況見通しDIは▲5.7から▲17.9となった。

製造業の動向

1 食料品

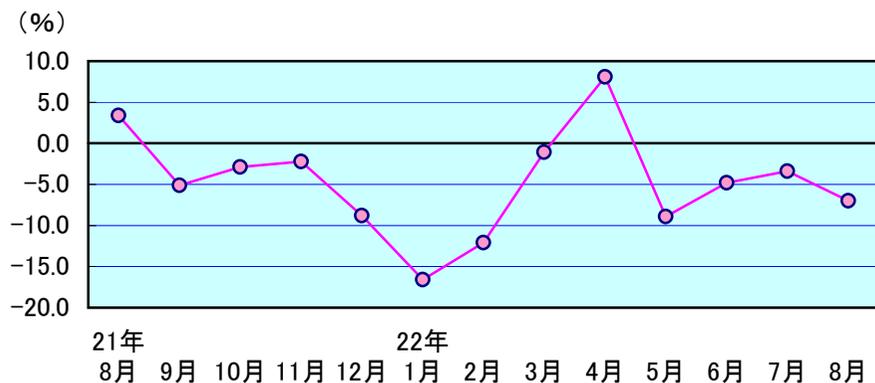
弱含みとなっている

生産額は前年同月比7.0%減と前年同月を下回っている。3カ月先の業況見通しDIは6.7から▲13.3となった。

猛暑の影響により、菓子や加工食品の一部企業で売上額が落ち込んでおり、酒類にいたっては、全ての企業で生産額が前年同月を下回っている。

一部企業で前年同月を上回っているものの、総じて見れば低調な動きが続いている。

食料品生産額前年同月比



	21年	8月	9月	10月	11月	12月	22年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
食料品	3.4	-5.1	-2.9	-2.2	-8.8	-16.6	-12.1	-1.1	8.1	-8.9	-4.8	-3.4	-7.0		

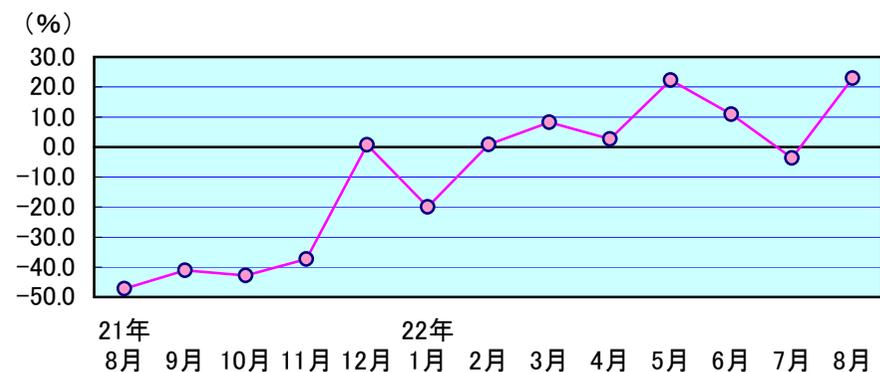
2 繊維・衣服

弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比22.9%増、同4.7%増。3カ月先の業況見通しDIは50.0から▲16.7となった。

前年同月に比べ全体的に受注に動きがあるものの、生産額は依然として一昨年の水準には達しておらず、総じて見れば弱めの動きが続いている。

繊維・衣服生産額前年同月比



	21年	8月	9月	10月	11月	12月	22年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
繊維・衣服	-47.2	-41.1	-42.8	-37.3	0.7	-20.0	0.8	8.2	2.7	22.3	10.9	-3.7	22.9		

3 木材・木製品

やや強含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比13.9%増、同18.7%増。3カ月先の業況見通しDIは16.7から0.0となった。

合板で、販売単価の値上がりと受注が堅調であることから、生産額が増加している。

一般製材や集成材でも、一部企業で生産額が増加しており、幾分改善されつつある。

なお、県内の新設住宅着工戸数は2カ月連続で前年を上回ったものの依然低水準であり、住宅市況の落ち込みが懸念される。

4 鉄鋼・金属製品

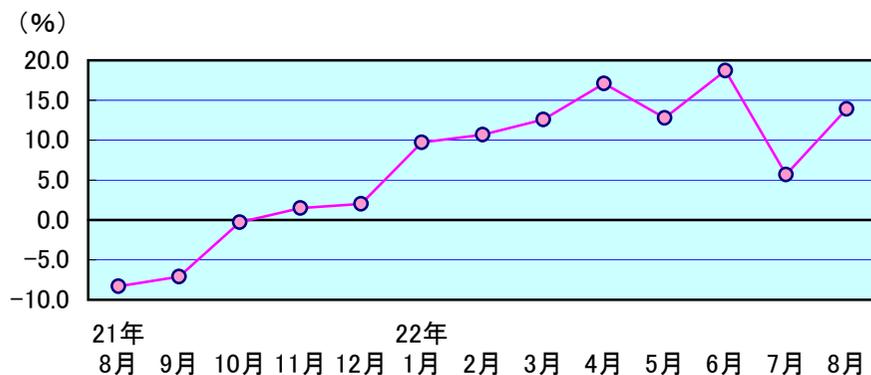
弱含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比13.3%増、同7.1%減。3カ月先の業況見通しDIは9.1から▲36.4となった。

機械関連や鋼管関連の一部企業で受注が好調に推移しており、生産額が前年同月比を上回っているものの、産業設備関連の一部企業では受注件数の減少などから、前年同月比でマイナスの状況となっている。

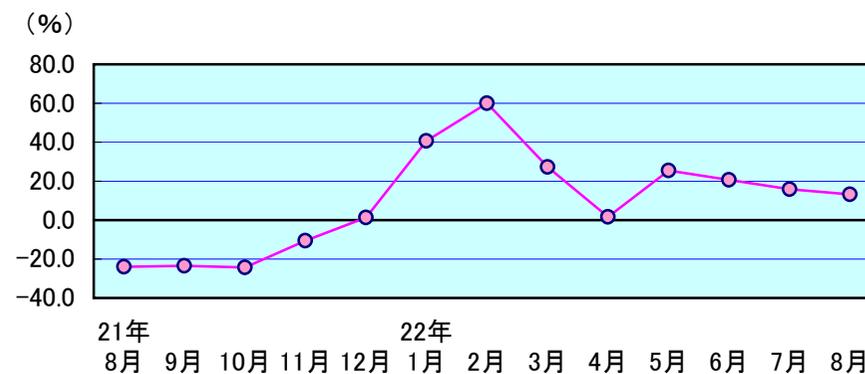
総じて見れば一昨年の生産額を依然として下回っており、弱含みの状況が続いている。

木材・木製品生産額前年同月比



	21年					22年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
木材・木製品	-8.3	-7.1	-0.3	1.5	2.0	9.7	10.7	12.6	17.1	12.8	18.7	5.7	13.9

鉄鋼・金属生産額前年同月比



	21年					22年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
鉄鋼・金属	-23.9	-23.4	-24.3	-10.5	1.3	40.6	60.0	27.3	1.7	25.5	20.7	15.9	13.3

5 一般機械

弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比21.8%減、同10.0%減。3カ月先の業況見通しDIは▲12.5から▲50.0となった。

産業機械設備や工作機械などで受注動向が思わしくなく、全体的にも生産額が前年同月を下回っている企業が多く見受けられるなど、弱めの動きとなっている。

6 電気機械

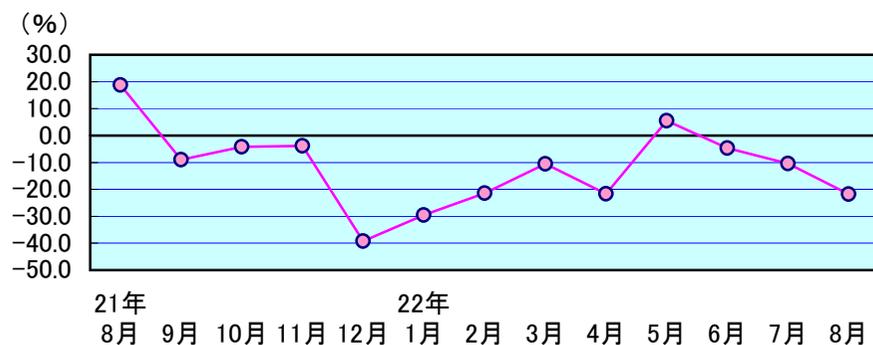
強めの動きとなっている

生産額、受注額は、それぞれ前年同月比24.5%増、同23.5%増。3カ月先の業況見通しDIは▲35.0から▲50.0となった。

全体の生産額は堅調に推移しており、一昨年同月の生産額に迫る水準まで回復してきている。また、海外需要が好調であることから、半導体関連や電子部品組立関連など幅広い分野でフル生産状態となっている。

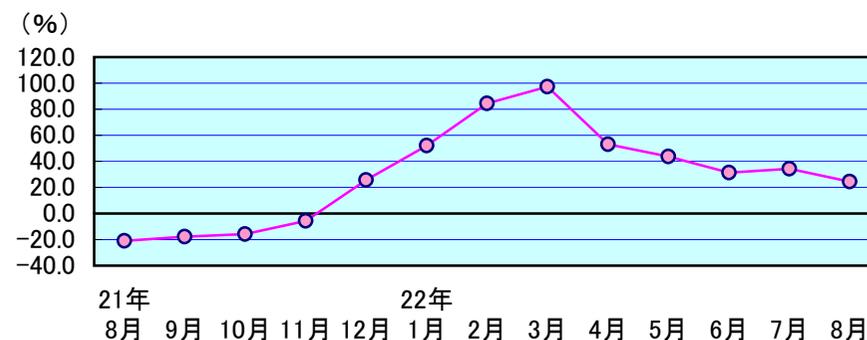
ただし、今後の受注動向の悪化を懸念する企業が多く見受けられる。

一般機械生産額前年同月比



	21年				22年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般機械	18.8	-9.0	-4.2	-3.8	-39.2	-29.6	-21.4	-10.5	-21.6	5.5	-4.7	-10.4	-21.8

電気機械生産額前年同月比



	21年				22年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
電気機械	-21.1	-17.7	-15.9	-5.7	25.6	52.0	84.5	97.2	53.1	43.6	31.4	34.4	24.5

7 輸送機械

回復基調が続く

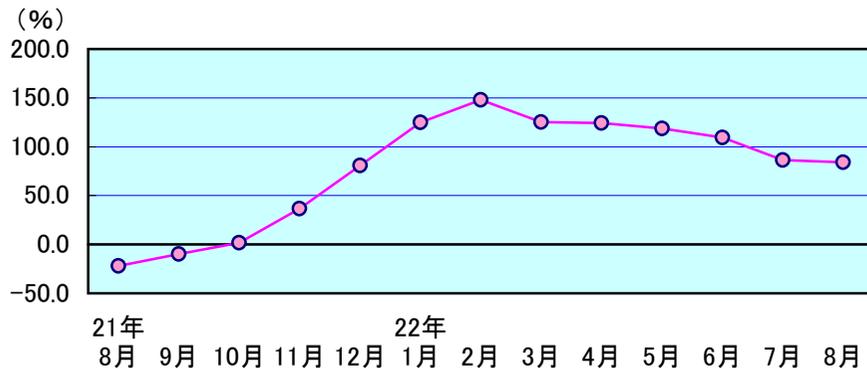
生産額、受注額はそれぞれ前年同月比83.9%増、同88.4%増。3カ月先の業況見通しDIは▲16.7から▲50.0となった。

好調な自動車販売に支えられ、生産額は堅調に推移している。

また、一部企業では一昨年を上回る生産額となるなど、回復基調が続いている。

しかし、3カ月先の見通しについて、国の補助制度終了に伴い生産量の減少が懸念される。

輸送機械生産額前年同月比



	21年					22年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
輸送機械	-22.0	-9.7	1.6	36.7	80.9	124.8	148.1	125.3	124.4	118.8	109.5	86.5	83.9

8 精密機械

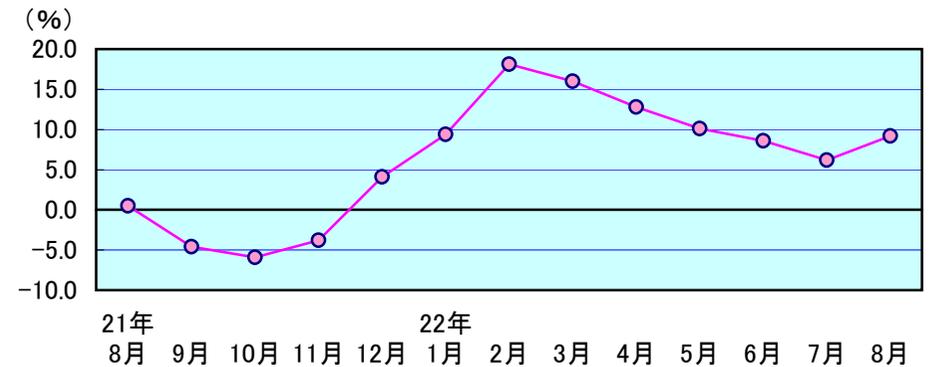
強めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比9.2%増、同23.3%増。3カ月先の業況見通しDIは▲25.0から0.0となった。

光ファイバー関連部品やデジタルカメラ関連部品など総じて生産額が増加しているほか、医療関連商品についてもフル生産状態となっている。

また、一部企業では生産額が一昨年を上回るほどに回復しており、総じて好調に推移している。

精密機械生産額前年同月比



	21年					22年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
精密機械	0.5	-4.6	-5.9	-3.8	4.1	9.4	18.1	16.0	12.8	10.1	8.6	6.2	9.2

建設業の動向

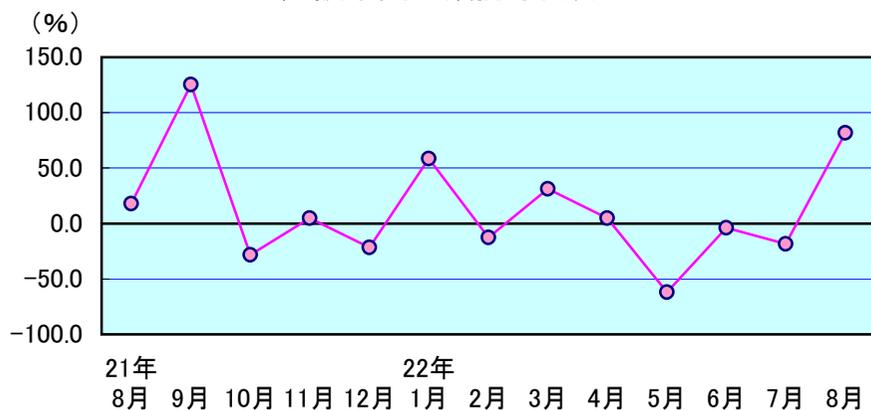
建設業

公共工事の減少により弱めの動きが続いている

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比81.9%増、同51.0%増。3カ月先の業況見通しDIは▲18.8から▲37.5となった。

一部企業で受注額が前年同月を大幅に上回ったものの、全体的な公共投資は減少傾向にあることから、弱めの動きが続いている。

建設業受注額前年同月比



	21年 8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建設業	17.8	125.4	-28.2	4.7	-21.5	58.5	-12.5	31.3	4.7	-62.0	-3.8	-18.5	81.9

小売業の動向

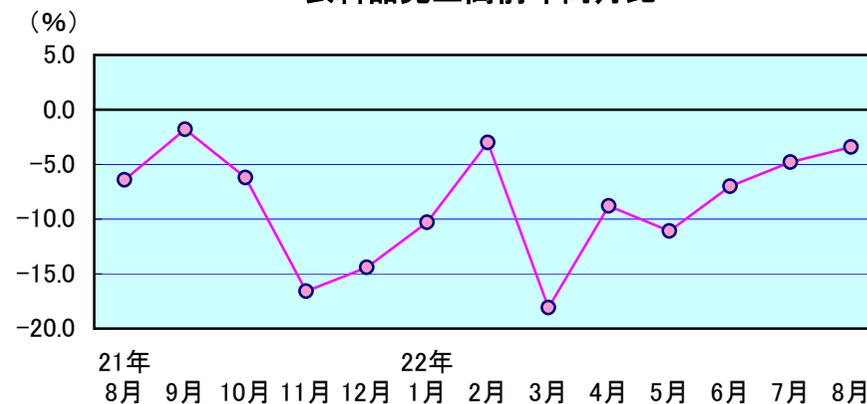
1 衣料品

弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比3.4%減。3カ月先の業況見通しDIは▲20.0から▲40.0となった。

夏物衣料に動きがあり、一部企業で売上額が前年同月を上回っているものの、全体としては売上額が前年同月を下回っており、総じて厳しい状況が続いている。

衣料品売上高前年同月比



	21年 8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
衣料品	-6.4	-1.8	-6.2	-16.6	-14.4	-10.3	-3.0	-18.1	-8.8	-11.1	-7.0	-4.8	-3.4

2 身回品

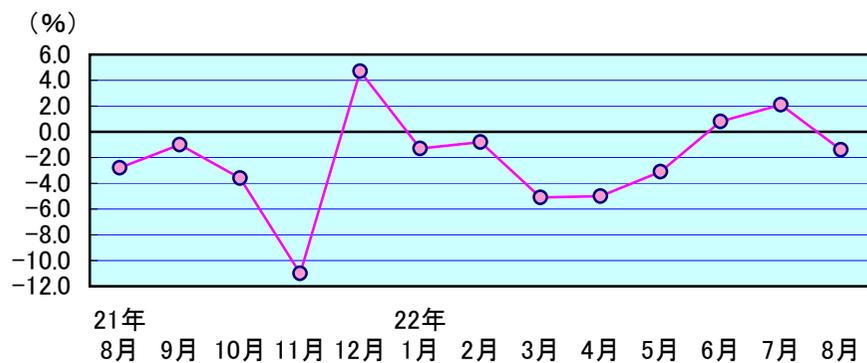
弱含みとなっている

売上高は前年同月比1.4%減。3カ月先の業況見通しDIは0.0から▲28.6となった。

一部企業で猛暑の影響により夏物商品が品切れとなり、売上額が落ち込んだ状況が見受けられた。

総じて見るとほとんどの企業で前年同月を下回っており、弱含みとなっている。

身回品売上高前年同月比



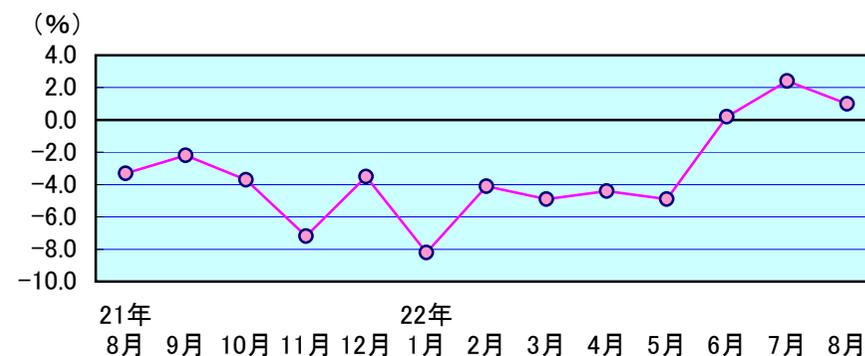
3 飲食料品

猛暑の影響により夏季商品が好調

売上高は前年同月比1.0%増。3カ月先の業況見通しDIは▲38.5から▲53.8となった。

猛暑の影響により、飲料品・冷菓・冷たい麺類などの夏季商品が好調であったが、生鮮食品の売上げが落ち込んだことから、売上額は前年並みとなった。

飲食料品売上高前年同月比



	21年	21年	21年	21年	21年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
身回品	-2.8	-1.0	-3.6	-11.0	4.7	-1.3	-0.8	-5.1	-5.0	-3.1	0.8	2.1	-1.4

	21年	21年	21年	21年	21年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
飲食料品	-3.3	-2.2	-3.7	-7.2	-3.5	-8.2	-4.1	-4.9	-4.4	-4.9	0.2	2.4	1.0

サービス業の動向

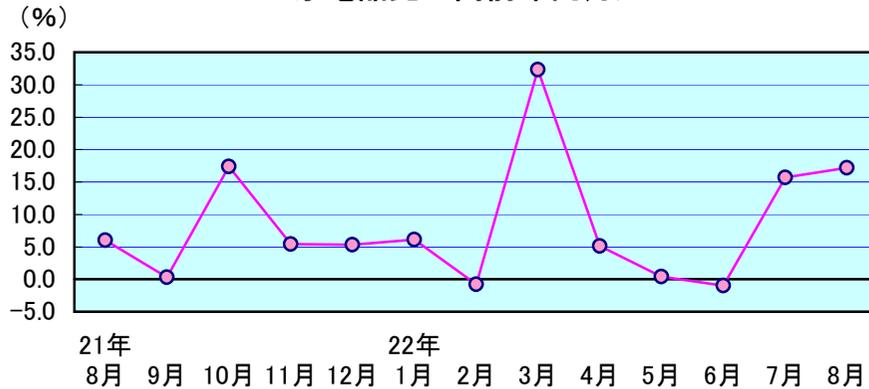
4 家電品

猛暑の影響によりエアコン・冷蔵庫の売れ行きが好調

売上高は前年同月比17.2%増。3カ月先の業況見通しDIは0.0から33.3となった。

薄型テレビの売れ行きが堅調に推移しているほか、猛暑の影響によりエアコンや冷蔵庫の売れ行きが好調であったことから、売上額を押し上げた。

家電品売上高前年同月比



	21年					22年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
家電品	6.0	0.3	17.4	5.4	5.3	6.1	-0.8	32.3	5.1	0.4	-1.0	15.7	17.2

1 旅館・ホテル

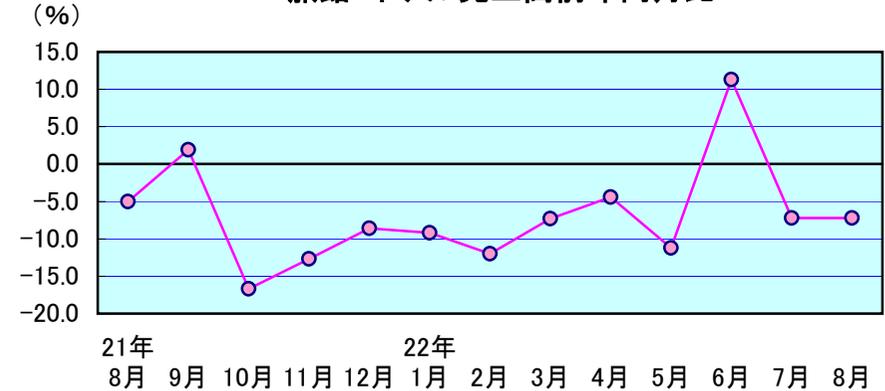
弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比7.2%減。3カ月先の業況見通しDIは20.0から▲13.3となった。

一部企業で宿泊の稼働率が前年同月を上回ったことから売上額が伸長したものの、婚礼部門及び宴会部門で売上額を落とした企業が多く見られ、全体として前年同月を下回っている。

総じて見れば、弱めの動きとなっている。

旅館・ホテル売上高前年同月比



	21年					22年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
旅館・ホテル	-5.0	1.9	-16.7	-12.7	-8.6	-9.2	-12.0	-7.3	-4.4	-11.2	11.3	-7.2	-7.2

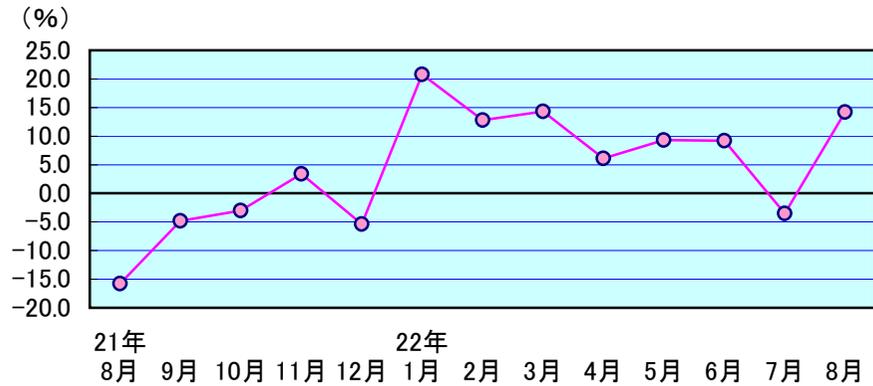
2 その他サービス

やや弱含みとなっている

売上高は前年同月比14.2%増。3カ月先の業況見通しDIは7.7から▲23.1となった。

一部運輸業で、自動車関連部品の生産増に伴い貨物輸送量が増加しており、引き続き好調を維持しているほか、一部コンピュータ関連業においてもスポット受注により売上額が前年同月を上回っており、全体の売上額を押し上げた。

その他サービス業売上高前年同月比



	21年	8月	9月	10月	11月	12月	22年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
その他サービス	-15.8	-4.8	-3.0	3.4	-5.4	20.8	12.8	14.3	6.1	9.3	9.2	-3.5	14.2		